

7月



すみれ組だより

暑さも日々増していき、いよいよ本格的な夏の暑さもすぐそこまで来ているようです。この時期は、体力や食欲が落ちたり、睡眠が不十分になったりして夏バテしやすくなります。こまめな水分補給や休息など、熱中症対策も行いながら、この暑い夏を元気に乗り切っていきましょう。

早いもので、すみれ組での生活もあっという間に3ヶ月が経ちました。最初は不安げな表情だった子どもたちも今では笑顔が溢れ、先生やお友だちと目を合わせて笑いあったり、喃語で話しかけてみたりと関わりも楽しんでいきます♪つい最近まで、ハイハイや伝い歩きで移動していたはずが、いつの間にか立てるようになり一人で歩けるようになり、その成長ぶりは毎日目が離せません！

これからも怪我に繋がらないよう見守りながら、子どもたちの日々の成長の喜びを保護者の方とたくさん共有していきたいと思っております♪



7月の目標



- ・水遊びやシャワーを通して、水に触れて遊ぶことを楽しむ
- ・ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で安心して食事や睡眠をとり、元気に過ごす

新しいお友だち♡

7月からすみれ組に女の子のお友だちが新しく加わり、3名になります♪ますます賑やかなすみれ組になるのが楽しみです！

◆手づかみ食べの意味って？◆

手づかみ食べは「スプーンやフォークが上手く使えないから仕方なく…」ということではなく、「自分の手で食べ物を握って口に運ぶ」というプロセスをしっかりと経験することが大切だと言われています。



五感の発達…食べ物の温度、固さ・柔らかさ、触感、匂いなどを感じてから食べることが、五感の発達に繋がります。

手先の発達…目と手と口をすべて協調させて動かすことは、手先の発達に繋がります。おもちゃと違って、強く握りすぎると潰れるなど、力加減を学ぶこともできます。

一口の量を学ぶ…大人がスプーンであげるときは量が調整されていますが、自分で手づかみ食べすることで、自分の口に適した大きさや量を学びます。

食べる意欲…自分のペースで食べることで、食べることの楽しさや意欲が育ちます。

手づかみ食べを十分にすることで、その後のスプーンやフォーク、お箸などへの移行もスムーズになります。大人がスプーンやお箸を使っていると、自分も真似をして使いたがることもありますが、上手く使えないと早く食べたい気持ちが勝って、手づかみ食べに戻ることも。子どもは「行ったり来たり」しながら発達していくものだと思って、その子のペースを見守ってあげることが大切です。忙しい時間帯に机や洋服が汚れてしまうのでつい食べさせてあげてしまいがちになりますが、シートを敷いてみたりするなど、汚れない工夫をしつつ可能な限りで手づかみ食べを進めてみてくださいね♪

